

中間市教育委員会

定例教育委員会会議録

(平成29年4月)

- 1 日 時 平成29年4月4日(火) 10時00分
- 2 場 所 市庁舎 本館 第一委員会室
- 3 出席委員 河本委員 衛藤委員 齊田委員 坂口委員 増田教育長
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局出席者 田中教育部長 片平学校教育課長
森学校教育課指導室長 古賀生涯学習課長
池田学校教育課長補佐 日下部生涯学習課長補佐
村上教育総務課長 小林教育総務課総務係長
- 6 傍聴人 2人
- 7 議事日程 別紙のとおり
- 8 議事次第 別紙のとおり

定例教育委員会議事日程

平成29年4月4日（火）10時00分

- 1 前回の議事録の承認

- 2 報告事項
 - (1) 平成29年4月学校教育行事及び社会教育行事について
 - (2) その他

- 3 協議事項
 - (1) 平成29年5月定例教育委員会の開催について
 - (2) その他

[開会時刻：10時00分]

増田教育長	平成29年4月定例教育委員会を開催いたします。始めに、前回の議事録の承認についてです。お手元に議事録があると思いますが、よろしいでしょうか。
各委員	はい。
増田教育長	では承認ということでよろしくお願ひします。 それでは報告事項に移ります。平成29年4月の学校教育行事及び社会教育行事について、事務局から説明をお願いします。
片平学校教育課長	はい。まず、共通行事につきましては、教職員の辞令交付式が3日月曜日に行われました。市外から4名の先生をお迎えしました。また、中間市では新規採用者として、現職の2名を含め19名の先生方をお迎えしております。始業式が7日金曜日に行われます。入学式は中学校が11日火曜日、小学校が12日水曜日に行われます。ご出席の上、教育委員会告辞をよろしくお願ひいたします。小学校は295名、中学校は296名の新入生を迎えます。各学校の新入生の人数は、底井野小24名、東小67名、中間小40名、北小43名、南小74名、西小47名、中間中59名、北中45名、東中89名、南中103名となっております。給食は中学校では10日月曜日、小学校では11日火曜日から始まります。18日火曜日は、全国学力学習状況調査及び中間市学力テストが行われます。 小学校行事についてです。各小学校において、4月下旬から5月上旬にかけて家庭訪問が行われます。PTA総会、授業参観が平日の午後から、あるいは土曜授業を利用して、もしくは土曜日に平日授業を振り替えて、それぞれの学校の実態に合わせて行われます。東小の24日月曜日に「3年ひまわり贈呈」とありますが、法務局から「人権の花」の取り組みとして、毎年小学校1校へ、3年生を対象にひまわりの種が贈られます。今年度は東小学校に決まっております。24日の週に北中校区で「ほくほく夢ネット」の取り組みとして、保育園、小学校、中学校が連携した生活習慣づくりを行います。 中学校行事についてです。各中学校において家庭訪問が4日間程度行われます。授業参観、PTA総会が中間中で20日木曜日に行われます。他の中学校は5月2日に行う予定になっております。以上でございます。

増田教育長

ただ今の学校教育行事につきまして、ご質問、ご意見がありましたら、どうぞお願いいたします。

衛藤委員

それでは、何点かお尋ねします。まず、底井野小、南中、北小において土曜授業、PTA総会、授業参観、学級懇談が組まれています。また、南中では土曜授業、対面式、部活紹介が実施されます。何ヶ月か前の教育委員会で、土曜授業の時の振替等をどのようにされているかお尋ねしたところ、基本的に夏季休業、冬季休業で振り替えるとお答えいただきました。それはそれで結構なんですが、今回、北小は土曜日の振替を代休という形でとられてますよね。だからこれは、先ほど課長が説明された、平日に振り替えて授業をするという理解の仕方をすれば代休というのは分かりますが、内容としては底井野小も北小も一緒です。底井野小は夏季休業中に振り替えるんだろうと思いますが、北小学校では代休という措置がとっておりますので、これについて質問したいのが1点です。

2つ目は南小の労働安全衛生委員会について、基本的にはどこの学校も月1回で計画されていると思いますが、南小では3日、5日の2箇所入っています。だからこれは、どちらかが間違いではないかと思えます。

それから、同じく南小学校ですが、学力アップ週間というのが組まれています。心配なのは、新1年生が入学する前の段階で組まれているということです。これは全校一斉にやる行事ではないかと思えますが、まだ1年生が入学していない段階で計画されているので、新1年生はどのようにするのかというのが質問です。

あと、18日に全国学力学習状況調査がありますよね。それに向けての学力分析だろうと思いますが、3年学力分析というのが全中学校で12日か13日に入っていますよね。これは、市販の分ですか。

それから、25日に東小、西小、東中の小中連携会議が組まれていますね。これは年度最初の会議だと思えますので、できたら内容について教えてほしいです。

最後に、南中で23日から25日にかけて1年生宿泊体験学習を計画されていますが、日曜日から始まりますよね。日、月、火と。これに伴う代休措置の記載が23日以前にありませんので、連休明けなのかなと思いますが、基本的に代休措置は2週間以内に行うのが原則だと思います。どういう形で代休措置がされているのかお尋ねします。以上です。

増田教育長

ただいま、衛藤委員から6点質問をいただきました。1つずつ回答していきましょう。1点目、土曜授業の振替は夏休みに行うのか、代休措置か

という質問です。

片平学校教育
課長

はい。「土曜授業」と「平日授業を土曜日に振替える」ことの違いは、土曜授業は午前中のみで、3時間程度の授業であるということです。これについては代休日を設けず、職員の週休日の振替のみを夏休み等で行います。北小の授業参観、学級懇談は平日授業を土曜日に行いますので、午前中授業を行い、給食を食べた後、午後から授業参観を行います。

衛藤委員

といいますと、北小の場合は1日勤務になりますが、児童の給食は実施されるのでしょうか。

片平学校教育
課長

はい。

衛藤委員

そうなんです。分かりました。もうひとつ、土曜授業は基本的に3時間という説明でしたが、現在、夏季休業を1週間ほど繰り上げて、始業式を早めていますよね。授業時数が十分足りるようにする目的だと記憶していますけどね。そうすると、土曜日にあえて3時間授業をしなくてもいいんじゃないかという気がいたしますけど、そのあたりはどうでしょうかね。

片平学校教育
課長

はい。以前は、年間中学校は3日以上、小学校は6日以上の土曜授業を行っておりました。しかし、夏休みの期間を短くしたので、それを小学校も中学校も年間1日以上で計画していただきたいということを学校へ連絡しております。ただし、学校の実態によっては、土曜授業を実施するほうが地域との連携という面で効果的だということで数回実施している学校もございます。以上です。

増田教育長

よろしいですか。

衛藤委員

はい。

増田教育長

では2点目、南小の労働安全衛生委員会についてです。

森学校教育課
指導室長

はい。申し訳ありません、3日が間違いです。5日に実施いたします。

増田教育長

はい、分かりました。

それでは3番目、南小の学力アップ週間が4月10日からになっていま

すが、これについてはどうですか。

片平学校教育
課長

はい。これは、全国学力学習状況調査への取り組みとして実施しております。しかし、6年生だけではなくて、学校全体の取り組みとして2年生から一緒に勉強しようというものです。1年生はまだ入学しておりませんが、これはあくまでも全国学力学習状況調査への対応ということで設けているところです。

増田教育長

よろしいでしょうか。

衛藤委員

はい。

増田教育長

それでは4点目、中学校の学力分析についてです。

片平学校教育
課長

はい。これは市販のものを用いております。全国学力学習状況調査とは質や目的が若干違っておりますので、それとの関係性はございません。

増田教育長

はい。それでは5番目、東小、西小、東中の小中連携会議について。

森学校教育課
指導室長

はい。これは一般的な小中連携会議ではなく、東中学校区で連携した学力向上の取り組みを推進しようという会議で、定例で行われているものです。市教委が主管する小中連携学力アップ推進協議会の取り組みの一環として、東中、東小、西小の主幹教諭が中心となって、学力向上の取り組みについて協議するものでございます。

増田教育長

よろしいでしょうか。

衛藤委員

はい。

増田教育長

では最後に、南中で行われる宿泊体験学習の代休について。

森学校教育課
指導室長

記載していませんでしたが、26日水曜日を代休に設定しております。

増田教育長

はい。他に何かご質問、ご意見がありましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

河本委員

質問ではないんですが、私は毎年言っておりますけど、この時期は入学式がありますので、保護者が最も学校に集まる時期でもあります。そこで、保護者に向けて伝えたいことを、校長先生にぜひ話していただきたいです。学校だけではどうしてもできないこと、例えば生活面ですね。早寝早起きとか。そういうことはどうしても家庭でやっていただかなくてはいけない。そういうことが整っていないと、やはり学習面にも影響が出てきます。この時期が一番、保護者も耳に入りやすいんですね。そうした取り組みをして、学力などいろいろな面で成果を上げているところがあると聞いています。保護者には、「勉強しなさい」と言う前に、そういう環境を作ってほしいということを伝えていただいたらどうかと思います。その他にも、校長先生が言いたいことを、この時期にぜひ保護者へ伝えてほしいです。何か問題があったときに保護者を集めても、本当に来てほしい保護者は集まらず、問題のない児童生徒の保護者ばかりが集まると聞きます。けれども入学式には最も多くの保護者が集まるので、そういう時に、協力していただきたいことなどを伝えていただきたい。また、学年が新しくなりますので、児童生徒に対しても、ここからまた頑張っていこう、今からでも遅くない、という希望を持たせるような指導をしていただきたいと思います。

増田教育長

はい。ありがとうございます。明日、校長会がありますので、入学式の折には保護者への協力依頼をしていただくよう、学校長にお伝えします。

片平学校教育
課長

それに関しては、式が終わった後に保護者だけ残っていただいて、校長と学年主任からお話しているところでございます。その内容につきましては、今おっしゃったことを反映させるよう、校長会で依頼しておきたいと思います。

河本委員

はい、よろしく申し上げます。私も子どもの入学式で聞いたお話というのがずっと印象に残っていて、その時校長先生が話されたのは「先生を信頼してほしい」ということでした。「先生の悪口を絶対に子どもと話さないでほしい」というお話が今でも心に残っております。先生方が伝えたいことをおっしゃってくださったら、保護者の耳にもスッと入る時期でないかと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

増田教育長

はい。他にありませんか。よろしいでしょうか。
それでは次に、社会教育行事について説明をお願いします。

古賀生涯学習
課長

はい。それでは生涯学習課及び中央公民館の4月の行事をご報告します。ご覧のとおり、4月は大きな事業は入っておりません。貸館業務が中心です。30日に「ナカマラボ」として端午の節句に関係したことを学ぶ予定になっております。なかまハーモニーホールも貸館が主となっております。

中間市民図書館の行事でございます。1日に「おはなし会」、これは図書館職員による児童向けのおはなし会でございます。15日の講談社「本とあそぼう 全国訪問おはなし隊」、これは講談社が全国の図書館をおはなし隊としてまわっている事業です。22日土曜日の「おはなし会」、これはなかまフレンズの市民ボランティアの方にお越しいただきます。

次に生涯学習センターでございます。こちら、4月はほぼ貸館業務となっております。22日に「見聞録バスツアー」で長崎県に行きます。映画「沈黙」の舞台となった出津教会を訪問します。

次に体育文化センターです。16日日曜日「第9回やっちゃれビーチボールバレー大会」が体育協会主催で行われます。また20日には「第41回中間市ゲートボール大会」が、こちら体育協会主催で太陽の広場において開催されます。以上です。

増田教育長

ただ今の社会教育行事につきまして、ご質問、ご意見がありましたらどうぞお願いいたします。

衛藤委員

行事の内容ではありませんが、生涯学習課の分について、これは中央公民館も含めて予定表を出していますから、4月から中央公民館を日曜日に開館する取り組みがされていますので、それがはっきり分かるように、他の施設の予定表に記載しているように休館日を火曜日と明記された方が見やすいのではないかという意見です。

それからもうひとつは質問なんですが、体育文化センターの16日「やっちゃれビーチボールバレー大会」、これは体育協会が主催なので把握されているかどうか分かりませんが、もし分かればチーム数や参加選手の年齢構成を教えてくださいたいと思います。以上です。

古賀生涯学習
課長

はい。まず、行事予定につきましては、申し訳ございません。他の施設と同じように休館日を明記したいと思います。

それからビーチボール大会ですが、現在、36チームが参加予定になっております。年齢層は、10代が4名、20代が42名、30代が52名、40代が37名、50代が20名、60代が10名、70代が2名ということで、全部で167名の選手が参加されるようです。一般の部で男子、

女子、混合のチーム、壮年の部は60歳以上のチームが参加するという
ことです。

衛藤委員 ありがとうございました。

増田教育長 はい。他に何か、よろしいでしょうか。

各委員 はい。

増田教育長 それでは社会教育行事については以上で終了したいと思います。
報告事項の2番目、その他ということで、事務局から何かないでしょ
うか。

村上教育総務
課長 高齢者叙勲について報告申し上げます。平成29年4月1日付で副島邦
治郎氏の瑞宝双光章受章が決定されております。今回、副島氏は88歳
の叙勲を受章されています。平成元年3月に中間東中学校校長を退職され
た方です。4月中旬に福岡県から勲記、勲章を受け取りまして、4月下旬
までにご本人のお宅へお届けすることにしております。

衛藤委員 すみません、その件で。新聞を私ずっと見ておりますが、まだ載って
いないようです。新聞報道は4月中旬以降になるんですかね。

村上教育総務
課長 新聞報道はまだ確認できておりません。内閣府のホームページで発表さ
れていましたので、事務局はそちらで確認したところでは。

衛藤委員 ご本人はおそらくパソコンなどを使われないと思うので、ホームペー
ジをご覧になることはないと思うんですね。ご家族も受章が分かっていな
かったら多分ご覧にならないだろうから、新聞が一番伝わりやすいと思
うのですが。新聞報道がいつごろあるか分かりませんか。

村上教育総務
課長 ちょっと確認できておりません。

衛藤委員 もし分かりましたら教えてください。

増田教育長 事務局から報告、その他ありませんか。

古賀生涯学習
課長

はい。昨年度実施した「なかまっ子放課後イングリッシュスクール」事業について、検証委員会を行いましたので、その報告をいたします。

まず、本事業には対象児童の約4割の参加があり、授業の最後に行ったアンケートについても「英語が楽しい」という意見が多数挙がっておりました。また、本事業内で実施した英検ジュニアの試験については、参加者の中から希望者のみの受験という形ではありましたが、ブロンズのグレードで平均正答率が8割となっており、楽しみながら英語を学んだ結果、着実に力を養うことができている、事業としては概ね成功といえるのではないかと思います。

次に検証委員会についてです。「なかまっ子放課後イングリッシュスクール事業検証委員会」についてご報告いたします。委託業者から提出された事業報告書をもとに実施した検証委員会において、次のような意見が挙がりました。

まず、事業総括について、「英語嫌いにさせないこと」は目的ではなく留意点ではないか、わざわざ事業において重視した点として事業総括に入れるべきではない、という意見がありました。また、英検ジュニア実施報告については、試験の結果よりも、英検ジュニアに児童が自分の意思で挑戦したことを評価すべきであり、これから児童が英語以外にもさまざまなことに挑戦する姿勢を持つよう教育していくことも重要である、という意見が出ております。

次年度以降の課題といたしましては、対象学年を検討した方がいいという意見が出ております。具体的な一案としては、1、2年生を対象に耳から英語を入れ、英語教育の素地をつくるような授業を行う。そうすることで3、4年生は英語活動、5、6年生は強化としての英語になっていくので棲み分けができ、さらに小学校から中学校にかけて9か年の英語教育となり、英語教育のひとつの流れができるというものでございます。

これに対し、問題点としては、1、2年生を対象として放課後に授業を行うと下校時刻が遅くなり、学童保育にも影響が出る。また、下校時刻が遅くなることに対して、保護者や見守りをいただいている地域の方々の理解が必要になってくるといったことが考えられます。このため、対象学年については今後も協議検討が必要であります。

今年度の反省といたしましては、まず、事業目標と事業の評価項目がぶれていたため、委託業者との考え方のずれが生じてしまいました。したがって、次年度以降は事業目標と評価項目をしっかりと定めて、事業を実施していく必要があります。また、安全管理上の問題として、とある小学校でイングリッシュスクールの実施にあたり出入口を開放していたところ、無

関係の第三者が校内に入っていたことが何度かあったという報告がありました。このことは安全対策上、非常に重要な問題でございますので、施設方法等をしっかり協議、検討していかなければなりません。

会議で挙げられた意見は、次年度以降、事業を実施する際の参考とし、事業をよりよいものとするべく、今後の協議、検討をしていきたいと考えております。簡単ではございますが、以上をもちまして検証委員会の報告とさせていただきます。

増田教育長

はい。ただ今の報告について、何かご意見、ご質問がありましたらどうぞお願いいたします。

衛藤委員

28年度は5、6年生を対象に実施されたので、6年生は中学へ上がりますが、5年生で引き続き受講したいという子どもはたぶんいると思うんですよね。

以前の教育委員会で説明がありましたが、平成29年度暫定予算の中にこの事業の計画は入っておりませんでした。いろいろな状況の中でそういうことになったんだろうと思うのですが、子どもの立場に立てば、一度中断して再開するよりは、継続して参加できる方が望ましいと思います。それは予算との関係がありますので、そういった問題を整理しながらのことになると思いますが、今年度の見通しとして、実施されるのか、されないのか、もし現段階で予定が分かっていたら教えていただけたらと思います。

増田教育長

この事業については、皆さんから非常に好評をいただいておりますので、9月の本予算策定に向けて資料を準備して、予算獲得に向けて教育委員会としてしっかり努力してまいりたいと考えております。

他にありませんか。

森学校教育課
指導室長

はい。先ほど学校行事の中にもありましたが、小中学校の入学式が来週11日、12日と予定されております。昨年度、1月の教育委員会の折に、委員の皆様方にご出席をお願いしておりました。後ほど、ご確認の名簿をお渡しいたしますので、ご出席のほどよろしく願いいたします。なお、告辞文は明日お届けいたしますので、もうしばらくお待ちください。よろしく願いいたします。

増田教育長

先月、各委員の皆様方には卒業式にご出席いただいたと思いますので、そのご報告をお願いいたします。小学校においては、昨年度、英語教育に

力を入れたということで、児童達が贈る言葉の中に、英語のセンテンスを入れてみてはどうかと学校長に依頼していたところもあります。そういうところも含めて、感想をお聞かせいただきたいと思います。

衛藤委員

はい。私は中間中と東小に行きました。まず中間中ですが、74名の卒業生に対して、保護者の参加が2倍以上あったんですね。ということは、卒業式に対する保護者の関心が非常に高いということと、もうひとつは、親と子どもと一緒に卒業を祝っているんだなということを感じました。それが1点ですね。

それから、卒業生が作ったんだろうと思いますが、「飛び立とう未来を信じて」という横断幕が後ろに掲げてありまして、式に臨む卒業生ひとりひとりが、その横断幕に書かれている事柄を着実に、責任を持って実行しようという思いが、態度や服装に表れていたと思います。特に、卒業証書授与の際、校長先生から名前を呼ばれて「はい」と返事をするのが非常に大きな声で、大変さわやかな感じがしました。

それから、卒業の歌について、今年はなかまハーモニーホールで合唱コンクールをされたということを校長先生が式辞の中でおっしゃっていましたが、卒業生が非常に大きな声で歌っていて、聞いている私たちに「すごいな」という感情を与えるような歌声が体育館の中に響きわたっていて、大変感動いたしました。合唱がさらに卒業式を盛り立てたという感じで、大変すばらしい卒業式だったと思いました。

東小は、式が10時に始まって、終わったのが11時45分でしたが、約2時間近い時間を感じさせないような卒業式であったと思います。また、中間中と同じように、卒業生は68名なんですが、保護者席はそれ以上、満席になるほど来られていて、これもまた親子で卒業を祝うという感じがいたしました。

式の中で感じたことは、「門出の言葉」という式次第があるんですが、その中で5年生と6年生がお互いにお別れの言葉の掛け合いをするんですが、その内容が学校生活のことや、これから旅立つ6年生に対して、それから引き継ぐ5年生に対して伝えたいことを子どもなりに考えて、先ほど教育長がおっしゃったように、英語も若干交えて話しておりました。非常に素晴らしいもので、これも式を大変盛り上げたなという感じがいたしました。全体的にとっても感じの良い、素晴らしい雰囲気の中で終わったと感じました。以上でございます。

増田教育長

ありがとうございました。坂口委員どうぞ。

坂口委員

東中と北小に行ってまいりました。神聖なる空気の中、粛々と式典が進められ、私にとっても50年ぶりの卒業式を体験させていただきました。子どもは親の心を映す鏡であり、逆もまた真なりと思っております。お互いが本当に子どもの将来を祝福して旅立たれる様子に、私もうるうるとききました。そして、教育委員会の告辞も心を込めて読ませていただきました。子ども達にうまく伝わったかな、と思っております。非常にいい経験をさせていただきました。ありがとうございます。

増田教育長

はい。ありがとうございました。

齊田委員

北小のご報告をいたします。卒業の喜びと別れの悲しみを表すかのような、晴れ間が出たかと思えば雨が降り出すといった、そんな天候でありました。63回を数える卒業式で、2クラス50名の児童が卒業を迎えられました。印象に残ったのが、卒業証書授与の際の、児童達のはきはきとした力強く大きな返事で、新たな希望に向かっていくたくましさを感じました。在校生の贈る言葉は、卒業生への感謝の気持ち、また卒業生への憧れがしっかりと詰まったものでした。卒業生の門出の言葉では、自分たちの入学から学年ごとに振り返り、6年間の思い出を大切に語られていました。保護者の皆様もたくさんご出席され、一生懸命にビデオカメラを回しながら、わが子の晴れ姿を収めていらっしゃいました。また、終了後、体育館の後片づけにもたくさんのご協力があったように見えました。

ほとんどの卒業生が北中に進学され、この卒業生を中心に学年が編成されることになるでしょうから、児童同士というよりは、親しんだ学校や恩師の先生方との別れを噛み締めているという印象を受けました。体育館は寒かったのですが、非常に心が温まる卒業式でした。以上でございます。

増田教育長

はい。ありがとうございました。

河本委員

私は南小と北中へ行ってきました。どちらも整然とした卒業式でした。北中で印象に残ったのは、校長先生が式辞の中で、「学ぶことはただ勉強することだけでなく、人格を高めることだ」ということを、長い言葉でいろいろとおっしゃっていて、本当に今私が聞いても大変感動して、心に残りました。「苦しい時は歯を食いしばって過ぎる時を待て。そうすればまた新しくいい世界が開けてくる」ということをおっしゃっていて、本当に私自身も感動して、コピーが欲しいなと思うくらい、内容が素晴らし

かったです。この生徒は勉強だけでなく、そういうことも学んできたんだというような、整然とした式でした。最初は、生徒達もにこにこしていましたが、送辞と答辞がとても素晴らしくて、特に答辞ではこれまで育ててくれた親に恩を感じているという話を話していました。その送辞と答辞を聞いている最中に生徒達が感動して泣き始めて、それから卒業の歌では先生が指揮をなさいましたけど、先生も泣かれるほど盛り上がって、感動的な卒業式でした。

南小では、先生が卒業証書を渡すとき、本当に思いを込めた渡し方をしているというか、ひとりひとりに愛情を抱かれているんだなというのを感じました。式辞は割と短かったですがとても印象的な話で、「三冠王」の「冠」を感動の「感」に変えて、「三感王を大切にしてください」と、その三感というのが「実感、感動、感謝」ということでした。北中、南小どちらの先生も本当に情緒も大切に育ててあるんだなということを感じました。告辞を読むときも、児童たちは集中して聞いてくれてとても態度がよく、整然とした卒業式でした。本当に私自身、心が洗われるような一日でした。以上です。

増田教育長

私は南中と底小に行ってまいりました。南中の卒業生は3クラス91名でした。ここは藤原校長が最後の年ということで、生徒たちもそのことは十分認識していて、式典もしっかりと大きな声を出して姿勢もよく、凛とした卒業式でありました。その中で卒業生の言葉、それから卒業の歌の合唱の合間にも先生方に感謝、それから保護者に感謝という言葉がたくさん出てきて、本当に感動を覚えた卒業式でありました。非常に気持ちのいい卒業式であったと思っております。

底小は23名の卒業生ということでありましたけれども、ここは地域柄、来賓が30名以上来られているということと、保護者も40名以上、卒業生の倍以上来られているということで、本当に保護者や地域の方々が大事にしている学校だなと感じております。そして、人数が少ないため、児童達もしっかり頑張らなくてはいけないということで、声も大きく、ピシッと微動だにしないような卒業式でありました。また、門出の言葉では英語のセンテンスとして「my dream」といって、私は何になりたいということをして3人位英語で話していました。それから贈る言葉でも5年生が「one for all, all for one」という言葉で返していて、本当に緊張しながらもいろんなことにチャレンジしていて、気持ちのいい、温かみのある卒業式だったと感じております。以上でございます。

他に何か、委員の皆様方からよろしいでしょうか。それでは、協議事項

に入ります。平成29年5月定例教育員会の開催について、事務局からお願いいたします。

村上教育総務
課長

はい、5月定例教育員会の日程でございますが、連休の関係で4月28日金曜日10時から第1委員会室で開催したいと考えております。

増田教育長

よろしいでしょうか。4月28日金曜日10時からということで。

各委員

はい。

増田教育長

はい、それでは了承ということでお願いいたします。協議事項その他ということで事務局から何かありますか。よろしいでしょうか。

それでは以上をもちまして平成29年4月の定例教育員会を終了いたします。ありがとうございました。

各委員

ありがとうございました。

[閉会時刻：10時55分]